

白山麓・石川平野の農林業

白山の恵みを生かす



日本海から望む白山



加賀しずく

七ヶ用水大水門

白山白川郷ホワイトロード



夕日の石川平野

石川県石川農林総合事務所

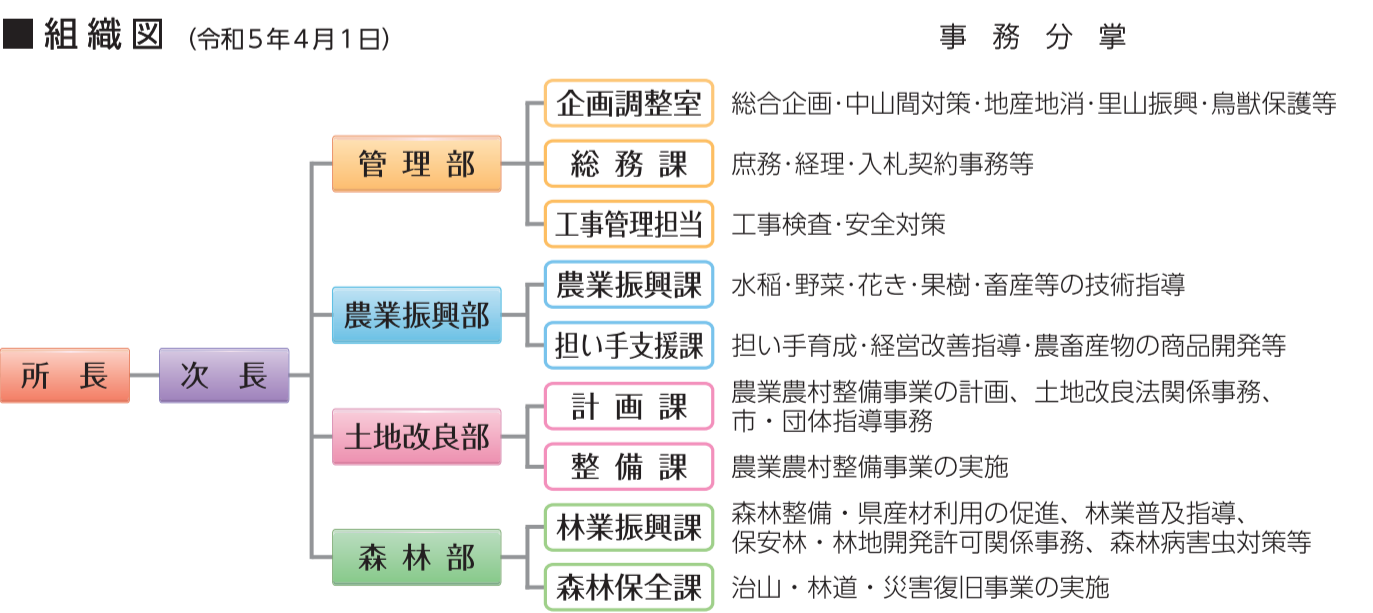
〒924-0864 白山市馬場町2丁目113番地
 管理部 TEL(076)276-0528 FAX(076)276-2745
 農業振興部 TEL(076)276-0371 FAX(076)274-0234
 土地改良部 TEL(076)276-0526 FAX(076)276-2745
 森林部 〒920-2121 白山市鶴来本町4丁目75番地
 TEL(076)272-1171 FAX(076)273-0659
 URL <https://www.pref.shikawa.lg.jp/ishikawanourin/index.html>
 メールアドレス ishinou@pref.shikawa.lg.jp 令和5年6月更新

管内の概要

石川農林総合事務所管内は、県南部中央に位置し、日本三霊山のひとつ「白山」を源とする県内最大の河川「手取川」の流域にあります。

地形的には、手取川右岸の扇状地からなる平野部と、河岸段丘からなる山麓部及び白山系の山地から構成されています。管内は南北56km、東西22km、面積768km²あり、県面積(4,186km²)の18%を占めています。行政区域としては白山市と野々市の2市となり、平野部は北陸自動車道・J R北陸本線・国道8号線・加賀産業道路がほぼ海岸線に平行に北東から南西に通じ、また県都金沢市や小松空港にも近いことから、工場用地や住宅地の造成が盛んに行われています。また、平成27年3月の北陸新幹線金沢開業に伴い、白山総合車両基地までの路線が供用され、さらに福井県敦賀市への延伸に向けた事業が進められているところであり、山麓部は、国道157号線が県境の谷峠を越えて福井県勝山市へと南下し、また、白山川郷ホワイトロード(旧白山スーパー林道)が冬期間を除いて岐阜県白川村へ通り、環白山観光ルートとして期待されています。これらの沿線には自然条件を生かした温泉地やスキー場、キャンプ場があり、地域の特産物を取り扱う直売所や飲食店とともに、毎年多くの都市住民が訪れていますが、過疎化・高齢化が進行し、農林業の担い手の確保が難しくなってきています。

事務所の組織



管内の農林業データ

■農家・林家の状況

市町名	総人口数(A)	農業経営体(総数:経営体)				経営体面積(C)/(A)(%)	林業経営体(D)	
		個人経営体(B)	団体経営体(B)	法人経営体(B)	(%)			
白山市	113,496	735	651	84	80	670	65	21
野々市市	53,563	1,000	98	2	2	97	3	0
管内計	167,059	835	749	86	82	9,98	767	68
管内計	1,132,656	9,890	9,293	597	468	4.7%	9,602	288
管内/県(%)	18.4%	8.4%	8.1%	14.4%	17.5%	8.0%	23.6%	—

資料: 2020年農林業センサス、北陸農林水産統計年報(令和3～4年)による

■耕地面積及び森林面積 (単位: ha)

市町名	総面積	耕地面積(ha)			森林面積(ha)			
		田	畑	計	国有林	県有林	市町有林	その他
白山市	75,493	4,400	228	4,628	21,862	3,751	2,175	35,627
野々市市	11,356	243	22	265	0	0	0	0
管内計	76,849	4,643	250	4,893	21,862	3,751	2,175	35,627
管内計	418,621	33,600	6,800	40,400	34,595	10,617	5,224	235,646
管内/県(%)	18.4%	13.8%	3.7%	12.1%	63.2%	35.3%	41.6%	15.1%

資料: 北陸農林水産統計年報(令和3～4年)、令和3年度石川県森林・林業実況による

農業振興部

Agricultural Promotion Department

消費者ニーズの変化に対応した農畜産物づくり、担い手育成などを支援しています。農産法人・集落営農組織の経営発展、新技術導入による低コスト高品質生産、売れる農畜産物づくり、地域特産物づくり等を支援・指導しています。



消費者ニーズの変化に対応した生産・販路開拓を支援しています。

- 水稲・大豆・小麦の生産性向上と水田の効率的な利用
- 園芸品目の生産性向上による競争力強化
- こだわりと優位性を備えたブランド化品目の生産安定
- 畜産経営への支援による生産拡大と体質強化



主要品目の作付・栽培面積

作物名	水稲	大豆	麦類	雑穀	トマト	きゅうり	ブロッコリー	菜	だいこん	菜	なし	りんご	桃	花き	ケイトウ
作付・栽培面積(ha)	3,173	617	354	40	4.31	2.78	115,000	13,23	2,20	16,50	0.25	0.71	0.40		

石川農林総合事務所調(令和4年度)

地域の農業を担う多様な担い手の活躍の支援をしています。

- 多様な担い手の確保・育成と経営体質強化
- 企業のノウハウを活かした生産性向上



地域の強みを生かした里山地域の振興に取り組んでいます。

- 白山麓の特性を活かした地域活性化支援



管理部

Management Department

里山地域の振興と食の安全の取組を支援しています。資源豊かな里山を次世代につなぐための施策や、地産地消、食育を推進し、食の安心・安全に関する取組を支援しています。

元気な里山を応援します。

- いしかわ農村ボランティア ボランティアの方々(都市住民、企業関係者、学生、NPO等)と里山地域の協働活動を行っています。
- 里山協働セミナー 里山地域の活性化のため、地域と企業等との協働活動の事例紹介や情報交換、里山整備の体験を行っています。



土地改良部

Land Improvement Department

消費を支える「水と土」を育み、農業・農村の振興を図ります。農水(農業用水、農業用排水施設)と土(農地)を整備することにより、農業生産性の向上と営農条件の改善を図るとともに、整備された農地や施設をその後長期にわたって保全・管理していきます。



農業用水の安定供給をはかるとともに、有効利用に取り組んでいます。

- 平成の大改修 手取川七ヶ用水は手取川扇状地の田畑を潤す用水です。これまでに「明治の大改修」「昭和の大改修」等の事業により、安定した農業用水を確保するための維持管理を行ってきました。しかし、水路施設の老朽化が著しいことや、都市化、湿性化による雨水流入量の増加によって治水被害が発生するようになり、現在、県営かんがい排水事業や用排水施設整備などの事業(平成の大改修)で計画的に水路の改修に取り組んでいます。
- 県営かんがい排水事業 ■ 土地改良施設豪雨対策
- 平成の大改修の状況 (令和5年3月末時点)

	延長(km)	改修済(km)
幹線水路	4.5	4.5
富樫用水	11.8	4.4
郷用水	26.1	11.6
中村用水	24.3	21.3
山島用水	36.0	29.4
大慶寺用水	18.0	12.1
中島用水	7.2	4.1
新砂川用水	14.4	13.4
計	142.3	100.8
全体改修率		70.8%

- ストックマネジメント事業の推進 ストックマネジメントは、管理者による日常管理、定期的な機能診断と評価、調査結果に基づく施設分類と劣化予測、効率的な対策工法と比較検討、計画に基づく対策の実施、調査・検討の結果や対策工事に係る情報の蓄積等を、段階的・継続的に実施するものです。ストックマネジメントを導入し、機能診断に基づく適切な予防保全対策を行うことにより、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減が図られます。
- 基幹水利施設予防保全対策事業

- 小水力発電の推進 農村における地域資源の潜在力を活用した再生可能エネルギーの生産及び利用を促進することにより、持続的なエネルギー調達とともに、温室効果ガスの削減など地球環境への負荷軽減を目指しています。管内では、農業用水を活用した小水力発電施設が2箇所稼働しています。
- 小水力発電 ■ マイクロ水力発電

農地の大区画化・汎用化による農業の体質強化をはかります。

- 県営ほ場整備事業 農地の区画を大きくするとともに農道・用排水路の再配置整備を一体的に実施し、大型農業機械の導入が可能な生産基盤を造成します。石川平野での整備が概ね完了したことから、近年は、白山麓地域での整備を進めており、農業生産性を高め、地域の中心となる農業者へ農地を集積し、地域農業の発展を支えています。

大日中央地区(白山市上野町)の整備前(左)と整備後(右)

市町名	整備率
白山市	92.7%
野々市市	60.3%
石川管内	92.2%
県全体	83.9%

農村の持つ様々な機能を保全する地域の活動を支援します。

- 多面的機能支払交付金 農地や農業用水等の資源が将来にわたって良好な状態で保全管理されるよう、地域住民を始め多様な主体の参画も得た取り組みを支援するものです。

多面的機能支払交付金取組状況 (令和4年度)

市町名	地区数	集落数	面積(ha)
白山市	34	131	3,552
野々市市	2	2	40
管内計	36	133	3,592

中山間地での営農を応援します。

- 中山間地域等直接支払制度 中山間地域の持つ水源かん養や洪水防止などの多面的機能を維持するため、急傾斜など生産条件が不利な農地で営農を行う農業者を支援する制度です。

白山市河原山町の棚田 水田の冬季湛水

市町名	認定継続数	面積(ha)
白山市	11	88.1
県全体	442	5,168.9

市町名	取組農家数(戸)	面積(ha)
白山市	20	96.6

森林部

Forest Department

豊かな暮らしを支える森林づくりに取り組めます。森林は、水資源を育むとともに、災害の防止、木材等の供給など、様々な機能を有しています。これらの機能を持続的に発揮させるため、適切な森林整備を行うとともに、県産材の供給拡大に向けて、林業・木材産業の基盤整備に取り組んでいます。



林業の魅力ある産業としての発展を図ります。

- 森林資源の循環利用 ドローンやICT等を活用した効率的な森林整備による林業収益力の向上と、主伐・再造林による森林資源の循環利用に取り組んでいます。

ドローンを活用した効率的な施行地の管理 主伐期を迎えたスギ人工林の主伐・再造林

森林を健全に維持し、生産性や公益的機能を高める森林づくりを進めています。

- 多様な森林づくり 公益的機能が発揮される健全な森林を維持・造成するため、県民参加の森づくりや海岸線の保全に取り組んでいます。

いしかわ森林環境税による県民参加の森づくり 松くい虫防除事業による健全な海岸線の保全

森林の多面的機能発揮に欠かせない森林整備のための道づくりを進めます。

- 林道事業 効率的な森林整備や木材生産に必要な林道等の整備に取り組んでいます。

森林基幹道 白木峠線(小松市新保町~白山市白峰) 森林管理道 高倉山線(白山市木浦~中宮)

路線整備の状況(令和5年3月)

区分	延長(km)	計画(km)	進捗率(%)	延長(km)	計画(km)	進捗率(%)
管内	41,591	333.2	206.6	214.9	18.1	135.9

白山麓の森のめぐみであるきのこ、わさびを活かした山村の振興を図ります。

- 特用林産物の栽培 なめこ、わさび等の特用林産物の安定生産と販路の拡大に取り組んでいます。

おが粉の菌床によるなめこびん栽培 渓流水を活用したわさび栽培

山地災害を防ぐとともに、水源かん養等の保安林機能の維持・増進を図ります。

- 治山事業

治山ダムの整備(白山市中宮地内) 落石防護柵の整備(白山市白峰地内)

山地災害危険地区(令和5年3月)

種別	地区数
山崩落危険地区	107
地すべり危険地区	21
崩壊土砂流出危険地区	313
なだれ危険地区	126
合計	567

地すべり防止区域(令和5年3月)

区域名	指定年月日	面積(ha)
河合	S63.3.15	19.20
東二口	S43.7.26	42.91
大道谷	S41.4.9	11.90
赤谷	S41.4.9	8.83
赤岩	S41.4.9	17.96
百合谷	S44.11.24/H6.7.11	149.82
計	6箇所	250.62

保安林の指定状況(令和5年3月) (単位: ha)

保安林種	水田かん養	土砂流出防止	土砂等防除	砂防等防除	水質防汚	なだれ防止	落石防止	保健	計
面積	12,112.5	3,733.1	13.1	81.3	0.8	626.3	5.4	1,373.6	17,946.0

「エコ農業者」の認定

農業が多様な機能を発揮していくためには、環境と調和した持続的な農業生産を行っていくことが重要です。県では、堆肥等を利用した土づくり、化学合成農薬及び化学肥料の使用量を削減した栽培により、環境にやさしい農業に取り組む農業者を「エコ農業者」として認定し、支援しています。

エコ農業者認定数(令和5年3月末時点)

市町名	認定数
白山市	73人
野々市市	3人
管内計	76人
県全体	747人



子どもたちを対象にした地域農産物の農作業体験を通し、「農業」に対する理解を深めます。

- いしかわ田んぼの学校 農業や農作物への理解促進と環境に対する豊かな感性を持つ子どもを育てていくために、田んぼ、水路、ため池などを遊びと学びの場とし、農業・農山村が持つ多面的機能を活用した体験型の環境教育を実施しています。



- 農作業体験ツアー 地元産の食材の収穫や料理づくりを親子と一緒に体験し、生産者と交流することで、「食」と「農業」への理解、「地産地消」の大切さを感じてもらおうための体験ツアーを実施しています。

